

# 情報モラル

ネットワーク社会のよさや利便性の一方で、次のような影の部分の問題が指摘されています。

- 間違った情報にだまされる。
- 人を傷つけてしまう。
- 守らなければならない個人情報を公開してしまう。
- 直接体験が不足したり、人とのふれあいが希薄になったりする。
- 被害者や加害者となる可能性がある。



情報モラルとは、情報社会で適正な活動を行うための基になる考え方や態度のことです。学校でもインターネットを利用する際には、子どもたちの発達段階に応じて、ルールやマナーなどについて指導しているところです。この「情報モラル」の必要性が叫ばれている背景には、ネットを利用した書き込みによる誹謗中傷やネット上への個人情報の流出、有害な情報等によるトラブルが激増しているからです。

いま、小学生が家庭でインターネットを利用したり自分用の携帯電話を保有したりする割合が増えています。子どもたちにインターネットや携帯電話を利用させる場合には、子どもたちが被害者にも加害者にもならないように、フィルタリング機能（成人サイト、暴力描写、出会い系など、青少年がアクセスするのに危険なサイト、不適切なサイトにアクセスしないように閲覧を制限する機能）の設定など、適切に対応くださるようお願いいたします。